

令和8年度

「運営に関する計画」



大阪市立十三中学校

令和8年4月

校訓

純真明朗 敬愛互譲 歓喜力行

学校教育目標

めざすこども像

- ・ 自ら考え行動できる子ども
- ・ 前向きに努力できる子ども
- ・ 心を大切にできる子ども

めざす教職員像

- ・ 範を示す
- ・ 力を合わす
- ・ 共に学ぶ

めざす学校像

- ・ みんなの居場所となる学校

教育方針

生徒の共通理解を深めるため、教職員の研修活動を活発にし、日々の教育活動の場でその実践化を図り、教職員相互の主体性と独自性を尊重する。

- 1 きめこまかな生徒理解を通じて、能力・適性を把握し、生徒一人一人の可能性を最大限に開発する。
- 2 進路指導にあたっては、結果よりも困難を開拓していく努力の過程を尊重する中で自己決定をさせる。
- 3 相互の開きあった人間関係・人間理解を通じて、共に変容するなかから規律ある集団の育成を図る。
- 4 生命の畏敬と心身の健全な成長をはかるとともに、自発的・能動的な相互協力によって環境の美化と安全に努める態度を養う。

大阪府立十三中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○学校現状について

・ 予防的な教育実践を体系的に実践することで、安心・安全な教育環境の中で教育活動を進めることができている。特に、望ましい行動を強化するための教育の枠組みである「学校規模ポジティブ行動支援(SWPBS)」の実践により、目標とする行動が明確になり、生徒の望ましい行動を引き出すための強化週間が設けられるなど、日々の生活の中で生徒の「できた・やった」を引き出す機会が増加している。その結果、相対的に課題となる行動が減少傾向にあり、前向きな学校風土と文化が醸成されつつある。また、令和5年度からは心の不調を予防するための社会・情動的なスキルを学ぶ「こころあつぱタイム+」も導入され、生徒の心理・行動面への指導・支援の充実にも力を入れている。

学力面では、全国学力・学習状況調査、大阪府チャレンジテストの結果がやや改善傾向にあることが確認されているが、基礎・基本の確実な定着が依然として課題である。引き続き、朝学習の取り組みや各教科における ICT 機器の効率的な利用により課題克服に繋げていきたい。

○課題として

不登校生徒が高い水準にあり、心理的困難さを抱えた生徒が少なくない現状がある。これは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う社会全体の大きな変化が生徒の学び方を変え、漠然とした不安を高める要因になったのではないかと推察される。現在、各生徒のニーズに基づいた切れ目のない支援を行うため、福祉の専門家や大学との連携を行い、より効果的な指導・支援の実施が可能となっている。令和6年度より、校内において、登校支援チームを発足し、定期的な家庭訪問をより安定して実施することで、生徒との「つながり」を大切にする校内支援体制を構築している。また、生徒のいじめに対する意識調査では、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合が83.9%と、数年前の低水準(77%台)からの意識の改善が見られつつある。さらにいじめ予防の取り組みを体系的かつ断続的に実践し、より良い生徒集団の形成にも力を注いでいく必要がある。

これらの結果から、令和6年度より十三中学校における「めざす子ども像」の頭文字をとった「自・前・心」、「めざす教職員像」の頭文字をとった「範・力・協」に改訂し、個別最適な指導・支援の充実、教育環境の見直し、組織的な教育活動の推進に努め、「みんなの居場所となる」学校としての機能を高めるための取組を実施しており、今年度も引き続き継続しながら、中間目標・年度目標の達成をめざす。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・ 年度目標アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な回答をする生徒の割合を、90%以上にする。
- ・ 年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を、87%以上にする。
- ・ 年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を、88%以上にする。
- ・ 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・ 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01ポイント向上させる。

	令和6年度	令和7年度
国語		令和7年度 1年生 58.4点(対府比 0.93)
	令和6年度 1年生 59.2点(対府比 1.01)	→ 令和7年度 2年生 63.8点(対府比 0.99)
	令和6年度 2年生 67.6点(対府比 1.03)	→ 令和7年度 3年生 62.9点(対府比 0.98)
数学		令和7年度 1年生 52.4点(対府比 0.92)
	令和6年度 1年生 54.1点(対府比 1.08)	→ 令和7年度 2年生 59.1点(対府比 1.07)
	令和6年度 2年生 52.1点(対府比 1.03)	→ 令和7年度 3年生 54.6点(対府比 1.01)

- ・ 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を62%以上にする。
- ・ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女とも前年度より 0.01ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・ 「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を80%以上にする。
- ・ 教員の1か月あたりの平均時間外労働時間を30時間以下にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・年度目標アンケートにおける「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的回答をする生徒の割合を、84%以上にする。〔令和7年度 83.9%〕
- ・年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を85%以上にする。〔令和7年度 84.4%〕
- ・年度目標アンケートにおける「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を84%以上にする。〔令和7年度 83.3%〕
- ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。〔令和7年度 9.11%〕

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
78期〔令和6年度2年生 国語1.03 数学1.03〕→〔令和7年度3年生 国語0.98数学1.01〕
79期〔令和6年度1年生 国語1.01 数学1.08〕→〔令和7年度2年生 国語0.99数学1.07〕
- ・大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中3生の割合を60%以上にする。〔令和7年度 58.4%〕
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女とも前年度より0.01ポイント向上させる。〔令和7年度 2年男子 1.04 2年女子 1.12〕

【学びを支える教育環境の充実】

- ・年度目標アンケートにおける「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を78%以上にする。〔令和7年度 — 〕
- ・教職員の働き方改革に関する目標として、教員の1か月あたりの時間外勤務時間を30時間50分以下にする。〔令和7年度 30時間57分〕

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪府立十三中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度目標アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的回答をする生徒の割合を、84%以上にする。 〔令和7年度 83.9%〕 ・年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を85%以上にする。 〔令和7年度 84.4%〕 ・年度目標アンケートにおける「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を84%以上にする。 〔令和7年度 83.3%〕 ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。 〔令和7年度 9.11%〕 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
◆ 基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現	
<p>取組内容①【いじめへの対応 自・前・心 範・力・共】</p> <p>・いじめ予防プログラムである「私たちの選択肢」を活用し、1年生では「脱いじめ傍観者教育」、2年生では「ハウレンソウ教育」、3年生では「多様な性を理解する教育」を実施し、いじめ予防に努める。</p>	
<p>指標</p> <p>・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 84%以上にする。 【人権・道徳委員会 人権教育主担】〔令和7年度 83.9%〕</p>	
<p>取組内容②【問題行動への対応 自・前・心 範・力・共】</p> <p>・子どもの望ましい行動を引き出すための教職員から生徒への賞賛機会の充実を狙った「JUM 活」を実施する。</p>	
<p>指標</p> <p>・JUM 活による表彰機会を年間4回以上実施する。 【生活指導部 PBS 担当】〔令和7年度4回実施〕</p>	
<p>取組内容③【不登校への対応 自・前・心 範・力・共】</p> <p>・SC、SSW、子どもサポートネット等の専門家や支援者との情報共有会議を、学期に1回以上実施し、切れ目のない支援を行う。</p>	
<p>指標</p> <p>・不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。 【生徒指導主事】〔令和7年度9.11%〕</p>	
<p>取組内容④【防災・減災教育の推進 自・前・心 範・力・共】</p> <p>・地域の防災リーダーと連携して、防災マップをもとに災害時の注意点と対応についての学習機会を設け、防災意識の向上を図る。</p>	

<p>指標</p> <p>・1年生で地域と連携した防災体験学習を実施するとともに、全学年での年間2回以上の避難訓練等を通して防災意識を高める。</p> <p style="text-align: right;">【健康教育部 健康教育部長】〔令和7年度 避難訓練 2回実施〕</p>	
<p>◆ 基本的な方向2 豊かな心の育成</p>	
<p>取組内容①【道徳教育の推進 自・前・心 範・力・共】</p> <p>・自らがかけがえのない大切な存在であると実感できるよう、学校教育活動だけでなく、家庭・地域等との連携を図り、生徒の自尊感情を高め、他者を思いやる気持ちを育む。そのため、校内研究授業を行い教員の授業力向上に努める。</p>	
<p>指標</p> <p>・年度末の校内調査における「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を85%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">【人権・道徳委員会 道徳推進担当】〔令和7年度83.3%〕</p>	
<p>取組内容②【キャリア教育の充実 自・前・心 範・力・共】</p> <p>・SP トランプなど、自己の職業観・適性について探求し、進路実現を図るとともに将来の職業に対する見通しを持つことができるようにするため、3年間を見据えたキャリア教育を実践する。</p>	
<p>指標</p> <p>・年度末の校内調査における「自分の将来に、夢や希望を持っていますか」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を65%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">【教務部 キャリア担当】〔令和7年度 63.2%〕</p>	
<p>取組内容③【人権を尊重する教育の推進 自・前・心 範・力・共】</p> <p>・互いの違いを認め合い、共に成長する生徒集団を育むため、人権尊重の精神をもって指導・支援にあたる教職員の文化と風土を醸成する。</p>	
<p>指標</p> <p>・年度末の校内調査における「友だち一人ひとりの違いちがいを大切にしている」の項目について、最も肯定的に答える生徒の割合を、82%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">【人権・道徳委員会 人権教育担当】〔令和7年度 81.4%〕</p>	
<p>取組内容④【インクルーシブ教育の推進 自・前・心 範・力・共】</p> <p>・生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援が提供できるよう、通常学級担当者と特別支援学級担当者と通級指導担当者が、個別の支援計画や指導計画等をもとに連携し、学びの確保をする。</p>	
<p>指標</p> <p>・組織の改編を行うとともに、学期ごとに最新の特別支援学級生徒の情報を共有する。さらに、年に2回以上の教職員研修を開催する。</p> <p style="text-align: right;">【特別支援委員会 特別支援コーディネーター】〔令和7年度 2回実施〕</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】	
◆ 基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現	
取組内容①【いじめへの対応】	【人権・道徳委員会 人権教育主担】
取組内容②【不登校への対応】	【生徒指導主事】
取組内容③【問題行動への対応】	【生活指導部 PBS 担当】
取組内容④【防災・減災教育の推進】	【健康教育部 健康教育部長】
◆ 基本的な方向2 豊かな心の育成	
取組内容①【道徳教育の推進】	【人権・道徳委員会 道徳推進主担】
取組内容②【キャリア教育の充実】	【教務部 キャリア担当】
取組内容③【人権を尊重する教育の推進】	【人権・道徳委員会 人権教育主担】
取組内容④【インクルーシブ教育の推進】	【特別支援委員会 特別支援コーディネーター】

今後の改善点	
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】	
◆ 基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現	
取組内容①【いじめへの対応】	【人権・道徳委員会 人権教育主担】
取組内容②【不登校への対応】	【生徒指導主事】
取組内容③【問題行動への対応】	【生活指導部 PBS 担当】
取組内容④【防災・減災教育の推進】	【健康教育部 健康教育部長】
◆ 基本的な方向2 豊かな心の育成	
取組内容①【道徳教育の推進】	【人権・道徳委員会 道徳推進主担】

取組内容②【キャリア教育の充実】	【教務部 キャリア担当】
取組内容③【人権を尊重する教育の推進】	【人権・道徳委員会 人権教育主担】
取組内容④【インクルーシブ教育の推進】	【特別支援委員会 特別支援コーディネーター】

(様式2)

大阪市立十三中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 78期〔令和6年度2年生 国語1.03 数学1.03〕→〔令和7年度3年生 国語0.98数学1.01〕 79期〔令和6年度1年生 国語1.01 数学1.08〕→〔令和7年度2年生 国語0.99数学1.07〕 ・大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中3生の割合を60%以上にする。〔令和7年度 58.4%〕 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに、前年度より0.01ポイント向上させる。〔令和7年度 2年男子 1.04 2年女子 1.12〕 	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>◆ 基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上</p>	進捗状況
<p>取組内容①【言語活動・理数教育の充実 自・前・心 範・力・共】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の充実を柱に、新聞の活用を各教科で取り入れ、たくましく生きていくための情報収集力・分析力・読解力・表現力・思考力・判断力の向上をめざす。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科や各学年の取組で新聞を活用した授業等の実践を一人1回以上行い、実践事例の交流を行う。 【学力向上委員会 学力向上委員長】 	
<p>取組内容②【「主体的・対話的で深い学び」の推進 自・前・心 範・力・共】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着に向けて、「navima」を活用し、個別最適な朝学習の充実を図るとともに、各教科指導でも活用することによって、生徒の学習習慣の定着に努める。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「朝の学習時間に navima を活用した自学・自習を、概ね週1回は実施できている」に対して、最も肯定的な回答をする生徒の割合を65%以上にする。 【学力向上委員会 学力向上委員長】〔令和7年度 59%〕 	
<p>取組内容③【「主体的・対話的で深い学び」の推進 自・前・心 範・力・共】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科において、グループ学習や発表機会を設けることで生徒間の言語活動を活性化させ、他者の意見からの学びとともに自身の考えを広げることができる。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な回答をする生徒の割合を56%以上にする。 【学力向上委員会 学力向上委員長】〔令和7年度 55.4%〕 	

◆ 基本的な方向5 健やかな体の育成	
取組内容④【体力・運動能力向上のための取組の推進 自・ 前 ・心 範・力・ 共 】 ・適切な課題設定や課題の選択肢を自己能力に応じて決定する機会を設けるなど、個別最適な学習環境を整える。	
指標 ・年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を83%以上にする。 【保健体育科 保健体育科主任】〔令和7年度 82.5%〕	
取組内容⑤【健康教育・食育の推進 自・前・ 心 範 ・力・ 共 】 ・保健体育科、家庭科などの学習や長期休業前の健康面についての講話などを通じて、規則正しい生活習慣を身につけるとともに朝食をとる習慣を高める。	
指標 ・年度末の校内調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的回答をする生徒の割合を90%以上にする。 【食育委員会 保健主事】〔令和7年度 89.8%〕	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】	
◆ 基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上	
取組内容①【言語活動・理数教育の充実】	【学力向上委員会 学力向上委員長】
取組内容②【「主体的・対話的で深い学び」の推進】	【学力向上委員会 学力向上委員長】
取組内容③【「主体的・対話的で深い学び」の推進】	【学力向上委員会 学力向上委員長】
◆ 基本的な方向5 健やかな体の育成	
取組内容④【体力・運動能力向上のための取組の推進】	【保健体育科 保健体育科主任】
取組内容⑤【健康教育・食育の推進】	【食育委員会 保健主事】

今後の改善点	
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】	
◆ 基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上	
取組内容①【言語活動・理数教育の充実】	【学力向上委員会 学力向上委員長】
取組内容②【「主体的・対話的で深い学び」の推進】	【学力向上委員会 学力向上委員長】

取組内容③【「主体的・対話的で深い学び」の推進】	【学力向上委員会 学力向上委員長】
◆ 基本的な方向5 健やかな体の育成	
取組内容④【体力・運動能力向上のための取組の推進】	【保健体育科 保健体育科主任】
取組内容⑤【健康教育・食育の推進】	【食育委員会 保健主事】

(様式2)

大阪市立十三中学校 令和8 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実 自・前・心 範・力・共】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度目標アンケートにおける「インターネットや生成 AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を78%以上にする。〔令和7年度 ー〕 ・教職員の働き方改革に関する目標として、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を30時間50分以下にする。〔令和7年度 30時間57分〕 	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>◆ 基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進</p> <p>取組内容①【ICTを活用した教育の推進 自・前・心 範・力・共】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル教育の年間指導計画を作成し、情報モラル教室について各学年が年に1回以上実施するとともに、情報モラル学習を計画的に実施する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、最も肯定的な回答をする生徒の割合を80%以上にする。 <p>【生活指導部/情報委員会 情報委員長】〔令和7年度 78.5%〕</p>	進捗状況
<p>取組内容②【ICTを活用した教育の推進 自・前・心 範・力・共】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報教育研修会を実施し、ICT活用に関する基礎的な知識の向上に努める。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報委員会主催のICT活用に関する研修会を年1回以上実施する。 <p>【情報委員会 情報委員長】〔令和7年度 1回実施〕</p>	
<p>取組内容③【ICTを活用した教育の推進 自・前・心 範・力・共】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝学活で心の天気の入力をさせ、生徒のメンタルヘルス面の現状把握に努める。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心の天気」の登録状況率を70%以上にする。 <p>【情報委員会 情報委員長】〔令和7年度 49.9%〕</p>	
<p>◆ 基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり</p> <p>取組内容④【働き方改革の推進 範・力・共】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次有給休暇の取得を促す。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を77%以上にする。 <p>【管理職 教頭】〔令和7年度 76%〕</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】	
◆ 基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進	
取組内容①【ICT を活用した教育の推進】	【生活指導部/情報委員会 情報委員長】
取組内容②【ICT を活用した教育の推進】	【情報委員会 情報委員長】
取組内容③【ICT を活用した教育の推進】	【情報委員会 情報委員長】
◆ 基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり	
取組内容④【働き方改革の推進】	【管理職 教頭】

今後の改善点	
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】	
◆ 基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進	
取組内容①【ICT を活用した教育の推進】	【生活指導部/情報委員会 情報委員長】
取組内容②【ICT を活用した教育の推進】	【情報委員会 情報委員長】
取組内容③【ICT を活用した教育の推進】	【情報委員会 情報委員長】
◆ 基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり	
取組内容④【働き方改革の推進】	【管理職 教頭】

令和8年度 学校関係者評価報告書

大阪市立十三中学校 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】
年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】
年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

3 今後の学校園の運営についての意見

--